

高山市議会

ぎかいだより



声援

第5号

2011年11月1日
発行

9月定例会結果	2-4
予算決算特別委員会審査	5-7
委員会審査	7
9月定例会議案賛否表	8
9月定例会一般質問	9-14
委員会情報	15-18
議会改革	19
市民意見交換会のお知らせ 12月定例会のお知らせ	}..... 20

題字：南小学校5年生 住 奥花菜子さん

9月定例会の結果を報告します

9月定例会が9月13日から10月5日まで開かれ、平成22年度一般会計および特別会計歳入歳出決算などの他、条例・補正予算・人事など34議案を審議、原案のとおり認定・可決・同意し、議員提出の3議案を可決しました。

9月13日 本会議

〈議第59号〉高山市税条例等の一部を改正する条例の専決処分について

寄附金税額控除の適用下限額の引き下げ、

上場株式等の配当・譲渡所得等に対する軽減税率の適用期限延長等。

〈議第60号〉高山市スポーツ振興審議会条例の一部を改正する条例

について

スポーツ基本法の制定に伴う高山市スポーツ振興審議会等の名称変更など。

〈議第62号〉高山市美しい景観と潤いのあるまちづくり条例の一部を改正する条例について

地方自治法第2条第4項の改正に伴う条文

整備。

〈議第63号〉高山市伝統的建造物群保存地区保存条例の一部を改正する条例について

有線放送電話に関する法律の廃止に伴う条文整備。

〈議第67号〉教育委員会委員の任命について
任期満了に伴う任命
中村健史 ※敬称略

〈議第68号〉固定資産評価審査委員会委員の選任について
任期満了に伴う選任
青木秀雄 ※敬称略

議第59・60号、62・68号は、いずれも全員一致で可決・同意しました。

した。

〈報第8号〉継続費精算報告書（一般会計）について

国府小学校校舎改築事業（平成21～22年度）継続費に係る継続年度の終了に伴う報告。

〈報第9号〉継続費精算報告書（下水道事業特別会計）について

宮川終末処理場改造事業（電気設備）（平成21～22年度）継続費に係る継続年度の終了に伴う報告。

〈発議第8号〉高山市議会の議決すべき事件を定める条例の一部を改正する条例について（議員提案）※3P参照



10月5日 本会議

〈議第61号〉高山市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について
 全員一致で可決しました。※7P参照

大限の効果が出るように市に予算執行者としての責任ある取り組みを求め、多くの委員からなされたことも報告されました。

〈認第1号〉平成22年度高山市一般会計歳入歳出決算
 〈認第2号〉平成22年度高山市国民健康保険事業特別会計から〈認第12号〉平成22年度高山市後期高齢者医療事業特別会計までの11の特別会計歳入歳出決算
 〈認第13号〉平成22年度高山市水道事業会計決算

その後、認第1号・認第2号・認第9号・認第12号について、それぞれ反対・賛成の討論が行われ、4議案は賛成多数で、その他の議案は全員一致で認定しました。

〈議第69号〉議第74号〈高山市芸術文化顕彰者について
 玉 賢三（グラフィックデザイン）
 喜代志 松治（彫刻）
 山本 たつ（文学）
 中村 好明（作曲）
 新澤 愛子（創作バレエ）
 中村 征子（日本舞踊）

〈議第75号〉東小学校校舎改築工事（建築）請負契約の締結について
 契約金額 11億145万円
 堀口・林特定建設工事共同企業体

〈議第76号〉高山市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例等の一部を改正する条例について

障害者自立支援法の改正に伴い、関連する3つの条例の条文を整備するもの。
 議第69号・76号は、全員一致で同意・可決しました。

〈議第9号〉電力多消費型経済からの転換を求める意見書
 〈議第10号〉軽油引取税の課税免除制度の

継続を求める意見書
 議第9・10号は全員一致で可決しました。
 ※下段参照

併せて、事業の実施にあたっては、評価・検証を十分行ない、最

※敬称略



発議

〈発議第8号〉

将来に向けたまちづくりの指針となる基本構想は地方自治法によって、議会の議決が義務づけられていましたが、地方自治法の改正によって議決要件が撤廃されました。

高山市議会では議決すべき事件を定める条例に基本構想を追加し、策定途中での報告を義務づけることによって計画の策定に構想の段階から参画し、住民代表としての責任を果たそうとするものです。

発議第9号（意見書）

電力多消費型経済からの転換を図り、省エネ・節電対策が日常的・安定的に実施できる社

会を築くことが求められています。そのため「節電エコポイント」制度の創設や省エネ家電への買い替え推進策、住宅エコポイントの再実施や事業所等における省エネ投資を促進する税制、また金融面での支援措置を国に要望する内容です。

発議第10号（意見書）

軽油引取税が道路目的税から普通税に変更されたことで、課税免除制度も平成23年度末をもって廃止される状況にあります。

課税免除制度はスキー場のゲレンデ整備車や降雪機、森林施業の重機の他、農業・木材加工業など幅広く活用されてきており、制度廃止による地域経済への影響が懸念されるため、24年度以降の継続を国に要望する内容です。

9月定例会で審議された議案

9月定例会で審議された全案件は、次の表で示された議案番号と議案名の通りです。

上程・付託の欄は、それぞれの案件が付託審議された委員会を表示しています。初日の表示は定例会初日に、最終日の表示は定例会最終日に、それぞれ本議会で決定したものであり、委員会の付託は省略しています。決定については、結果の欄に表示し、議決状況をあわせて添付しました。

9月定例会の会議結果

市長提出議案

議案番号	議案名	上程・付託	結果	議決状況
議第59号	高山市税条例等の一部を改正する条例の専決処分について	初日	承認	全会一致
議第60号	高山市スポーツ振興審議会条例の一部を改正する条例について	初日	原案可決	全会一致
議第61号	高山市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について	福祉保健	原案可決	全会一致
議第62号	高山市美しい景観と潤いのあるまちづくり条例の一部を改正する条例について	初日	原案可決	全会一致
議第63号	高山市伝統的建造物群保存地区保存条例の一部を改正する条例について	初日	原案可決	全会一致
議第64号	平成23年度高山市一般会計補正予算(第4号)	予算決算特別	原案可決	全会一致
議第65号	平成23年度高山市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	予算決算特別	原案可決	全会一致
議第66号	平成23年度高山市地方卸売市場事業特別会計補正予算(第1号)	予算決算特別	原案可決	全会一致
議第67号	教育委員会委員の任命について	初日	同意	全会一致
議第68号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	初日	同意	全会一致
認第1号	平成22年度高山市一般会計歳入歳出決算について	予算決算特別	認定	賛成多数
認第2号	平成22年度高山市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について	予算決算特別	認定	賛成多数
認第3号	平成22年度高山市老人保健医療事業特別会計歳入歳出決算について	予算決算特別	認定	全会一致
認第4号	平成22年度高山市下水道事業特別会計歳入歳出決算について	予算決算特別	認定	全会一致
認第5号	平成22年度高山市地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算について	予算決算特別	認定	全会一致
認第6号	平成22年度高山市学校給食費特別会計歳入歳出決算について	予算決算特別	認定	全会一致
認第7号	平成22年度高山市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算について	予算決算特別	認定	全会一致
認第8号	平成22年度高山市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算について	予算決算特別	認定	全会一致
認第9号	平成22年度高山市介護保険事業特別会計歳入歳出決算について	予算決算特別	認定	賛成多数
認第10号	平成22年度高山市観光施設事業特別会計歳入歳出決算について	予算決算特別	認定	全会一致
認第11号	平成22年度高山市スキー場事業特別会計歳入歳出決算について	予算決算特別	認定	全会一致
認第12号	平成22年度高山市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算について	予算決算特別	認定	賛成多数
認第13号	平成22年度高山市水道事業会計決算について	予算決算特別	認定	全会一致
議第69～74号	高山市芸術文化顕彰者について	最終日	原案可決	全会一致
議第75号	東小学校校舎改築工事(建築)請負契約の締結について	最終日	原案可決	全会一致
議第76号	高山市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例等の一部を改正する条例について	最終日	原案可決	全会一致

報告

議案番号	件名	上程・付託	結果	議決状況
報第7号	損害賠償の額の決定の専決処分について	初日	報告終了	全会一致
報第8号	継続費精算報告書(一般会計)について	初日	報告終了	全会一致
報第9号	継続費精算報告書(下水道事業特別会計)について	初日	報告終了	全会一致

議員提出議案

議案番号	件名	上程・付託	結果	議決状況
発議第8号	高山市議会の議決すべき事件を定める条例の一部を改正する条例について	初日	原案可決	全会一致
発議第9号	電力多消費型経済からの転換を求める意見書	最終日	原案可決	全会一致
発議第10号	軽油引取税の課税免除制度の継続を求める意見書	最終日	原案可決	全会一致

平成22年度の決算審査を報告します

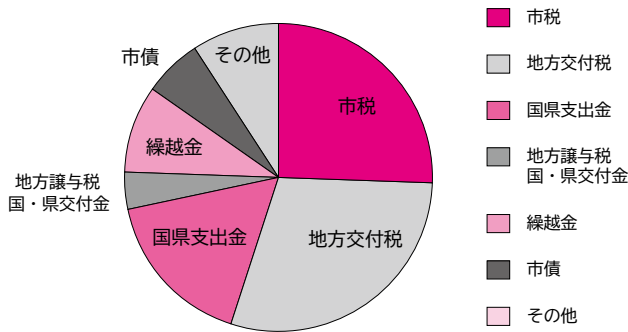
平成22年度歳入歳出決算審査

9月27日と28日、議員全員で構成する予算決算特別委員会におきまして、平成22年度の歳入歳出決算審査を行いました。一般会計と国民健康保険事業など11の特別会計、および水道事業の1公営企業会計を審査いたしました。また9月29日、同委員会におきまして、3件の補正予算案を審査しました。

H22年度 歳入総額 546億5096万円(一般会計)

◎科目別歳入状況

国や県からの歳入が多いことがわかります。平成22年度における自主財源と依存財源の構成比は43.9対56.1となっています。



【問】子ども手当での収入決算額が予算の1/10。なぜか。
【答】さまざまなしテムが確定しないうちに見積もらざるを得なかった。

【問】職員退職手当を、

主な質疑は次の通り。
【問】子ども手当は、
 国からの収入決算額で、人件費なども全てまかなえたのか。
【答】100%まかなって市の支出はない。

一般会計歳入

単位：千円

市税	地方交付税	国県支出金	地方譲与税・県交付金	繰越金	市債	その他	合計
14,026,441	16,151,274	9,065,701	2,139,749	5,054,023	3,321,400	4,892,376	54,650,964

【問】過年度滞納分の収納率は。
【答】22年度回収できたのは10・3%である。

【問】22年度の収納率は。
【答】99・23%である。

【問】公営住宅の収入未済も多い。保証人をつける規則ではないのか。
【答】1件につき、2名の連帯保証人をお願いしている。

【問】保証人に処理をお願いしたことは。
【答】過去にはある。

基金を使わず支出して、当初予算に計上したものを再度繰り戻している。ルール分は基金から支出すべきだ。

【答】執行に当たっては検討して行きたい。

【問】保育料の収入未済が多い。どういった理由が考えられるか。
【答】景気の低迷が理由の一つと考えられる。

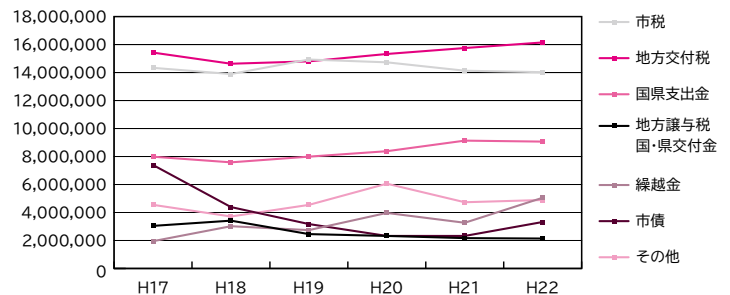
主な質疑は次の通り。
【問】ペレットストーブのペレットには補助があるが、薪ストーブの薪にはない。
【答】薪には様々な調達方法があって制度構築が難しい。現在、検討中。

総務費・消防費などに
【問】入湯税の使途が、ゴミ処理と観光となっているが、今後の考え方は。
【答】今後は観光事業と、温浴施設の維持など、

一般会計歳出

◎科目別歳入状況経年比較

市税収入はほぼ横ばい、国や県からの交付金が増加傾向です。

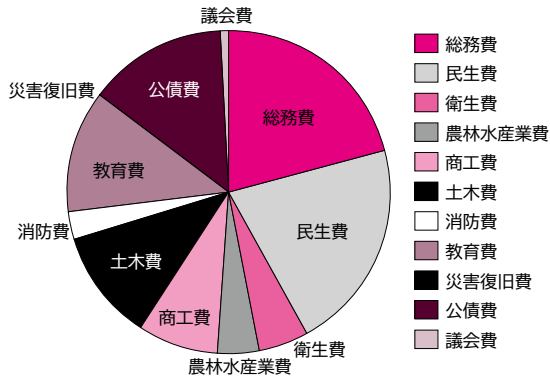


科目	H17	H18	H19	H20	H21	H22
市税	14,336,379	13,893,647	14,930,133	14,730,676	14,130,694	14,026,441
地方交付税	15,426,288	14,629,730	14,799,966	15,326,746	15,751,308	16,151,274
国県支出金	7,987,222	7,583,851	7,991,458	8,379,735	9,134,938	9,065,701
地方譲与税・県交付金	3,044,042	3,416,979	2,456,882	2,325,225	2,169,206	2,139,749
繰越金	1,950,939	3,019,986	2,741,188	3,969,623	3,266,624	5,054,023
市債	7,393,800	4,387,900	3,174,300	2,325,800	2,325,200	3,321,400
その他	4,547,407	3,715,067	4,543,704	6,059,254	4,733,035	4,892,376
合計	54,686,077	50,647,160	50,637,631	53,117,059	51,511,005	54,650,964

H22年度 歳出総額 499億6977万円(一般会計)

◎目的別歳出状況

総務費は国府支所庁舎新築などで増大したものです。その他では民生費が突出して大きく、今後も増加することが予想されます。



目的別	金額
総務費	10,544,706
民生費	10,519,782
衛生費	2,441,257
農林水産業費	2,127,008
商工費	4,050,477
土木費	5,482,204
消防費	1,431,941
教育費	6,073,896
災害復旧費	16,643
公債費	6,923,068
議会費	358,788

◎目的別歳出状況経年比較

やはり民生費の構成比が大きくなっています。平成20年のリーマンショック以後、商工費の構成が大きくなっています。

	H17	H18	H19	H20	H21	H22
総務費	12,760,675	10,421,749	6,928,845	9,010,349	8,099,605	10,544,706
民生費	8,824,212	8,599,289	8,904,331	8,952,698	9,457,063	10,519,782
衛生費	2,444,695	2,439,425	2,345,306	2,279,843	2,654,181	2,441,257
農林水産業費	2,528,115	3,307,209	2,344,676	3,654,986	2,396,569	2,127,008
商工費	2,228,446	2,269,634	2,188,797	2,948,348	3,880,574	4,050,477
土木費	6,652,209	6,357,983	7,379,039	8,406,095	6,321,309	5,482,204
消防費	1,830,852	1,444,449	1,378,171	1,495,855	1,393,570	1,431,941
教育費	4,185,749	4,265,576	4,936,494	4,695,905	4,451,634	6,073,896
災害復旧費	2,523,812	1,203,179	1,974,315	18,345	63,276	16,643
公債費	7,321,460	7,237,464	7,923,401	8,011,590	7,369,971	6,923,068
議会費	365,866	360,015	364,633	376,421	369,230	358,788
合計	51,666,091	47,905,972	46,668,008	49,850,435	46,456,982	49,969,770

【問】 職員の人件費を検討して、増大する行政需要に対応してゆく考えは。
【答】 国でも公務員の処遇等に関し法律改正の動きがある。その動向により対応して行く。
【問】 つごいの広場(子育て支援事業)は市内に11箇所あるが、地域

【問】 療育施設の利用者が増えている。対応
【答】 一之宮・高根・国府・栃尾の各地域には常設していない。それぞれ地域で子育て支援のサービスが利用できるよう、常設を目指すべきだと考える。
【問】 療育施設の利用者が増えている。対応

【問】 障がい児支援窓口のようなものを設置し、利用者の情報交換を図れないか。
【答】 共通認識は大切。機会を増やす努力をしたい。
【問】 解消法は。
【答】 検討中。
【問】 障がい児支援窓口のようなものを設置し、利用者の情報交換を図れないか。
【答】 共通認識は大切。機会を増やす努力をしたい。

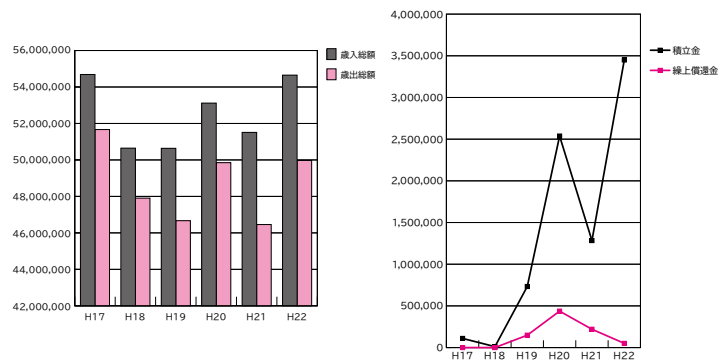
【問】 飛騨高山展予算
【答】 飛騨高山展予算は、今年も必要だ。
【問】 農作物への鳥獣害対策は十分だったか。
【答】 狩猟免許の取得や報奨金等での対応が今後必要だ。
【問】 飛騨高山展予算
【答】 飛騨高山展予算は、今年も必要だ。
【問】 農作物への鳥獣害対策は十分だったか。
【答】 狩猟免許の取得や報奨金等での対応が今後必要だ。
【問】 飛騨高山展予算
【答】 飛騨高山展予算は、今年も必要だ。
【問】 農作物への鳥獣害対策は十分だったか。
【答】 狩猟免許の取得や報奨金等での対応が今後必要だ。

【問】 プレミアム商品の効果は。
【答】 20億円の消費拡大効果はあったと認識。
【問】 農作物への鳥獣害対策は十分だったか。
【答】 狩猟免許の取得や報奨金等での対応が今後必要だ。
【問】 飛騨高山展予算
【答】 飛騨高山展予算は、今年も必要だ。
【問】 農作物への鳥獣害対策は十分だったか。
【答】 狩猟免許の取得や報奨金等での対応が今後必要だ。

【問】 給食費の未納問題は。
【答】 各学校で、適正に対応していただいている。
【問】 除雪費を1億円追加補正したが、その間に除雪の待ちは発生しなかったか。
【答】 そのようなことはなかった。
【問】 除雪機購入の助

◎歳入歳出経年比較

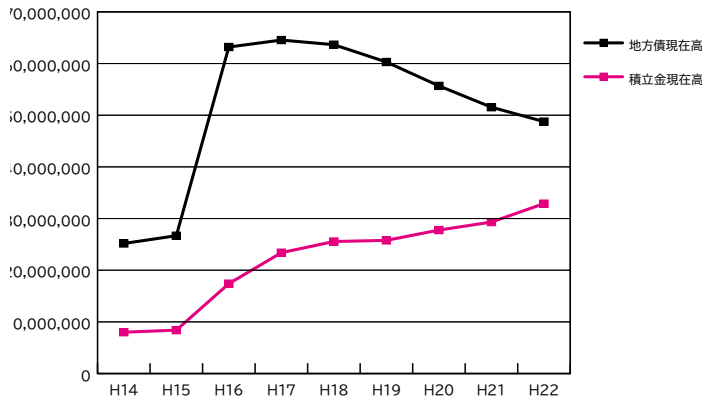
積立金と繰上償還金が増えています。国の臨時特例措置で、高金利の公的資金の繰上償還がしやすくなりました。



年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22
歳入総額	54,686,077	50,647,160	50,637,631	53,117,059	51,511,005	54,650,964
歳出総額	51,666,091	47,905,972	46,668,008	49,850,435	46,456,982	49,969,770
歳入歳出差引引き額	3,019,986	2,741,188	3,969,623	3,266,624	5,054,023	4,681,194
翌年度へ繰り越すべき財産	321,994	352,197	1,197,715	316,791	2,132,872	1,392,468
実費収支	2,697,992	2,388,991	2,771,908	2,949,833	2,921,151	3,288,726
積立金(財源)	109,729	11,281	732,584	2,537,387	1,283,577	3,449,849
繰上償還金	0	0	148,426	436,967	219,808	50,634

◎負債と積立金の推移（一般会計ベース）

合併時に一気に増えた借入金が、順調に減少していることがわかります。また、積立金が増えている様子もわかります。



単位：千円

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
地方債現在高	25,174,323	26,678,470	63,197,751	64,546,749	63,651,940	60,300,603	55,675,412	51,547,742	48,766,184
積立金現在高	8,023,044	8,390,918	17,405,732	23,391,861	25,555,436	25,775,706	27,768,595	29,320,006	32,890,284

成に、2000万円の
予算計上があったが実
績は。

【答】2台で50万600
0円の実績だった。

【問】総合交流セン
ターの設計費の経緯は。
【答】2940万円で
契約していたが、協議

の上契約を打ち切り、
出来高精算で617万
4000円減額とした。

【問】木造住宅耐震補
強助成の実績は。

【答】補強が必要な住
宅1万3700戸のう
ち、22年度末で38戸。

特別会計

主な質疑は次の通り。

国民健康保険事業

【問】保険料収入が減
少した理由は。
【答】前年度所得の減
少が考えられる。

【問】所得減少は、予
算に見込んでいたはず。
さらに減ったのか。
【答】その通り。

【問】収入未済額が
減った理由は。
【答】収入減少で賦課
額が下がったことと、
収納率が上がった。

【問】黒字決算だが単
年度収支は。
【答】3億以上の赤字。

介護保険事業

【問】介護保険料は3
年ごとに見直しが行
われており、高齢者が増
加する中で年々給付費が
増えている。基金の現

在高はいくらか。

【答】3億1600万
円である。

【問】平成23年度の見
通しは。
【答】1億5000万
円ほどの赤字が予想さ
れている。

【問】保健事業費の不
用額が大きい。
【答】すこやか健診の
受診者が減った。30
00人見込んだが、実
績は約1000人だっ
た。

後期高齢者医療事業

【問】数字の差が大き
すぎる。
【答】申込みは280
0人あった。

【問】減少傾向の理由
は。
【答】通院しているの
で、検診の必要ないと
判断した人が多い。

補正予算

〈議第64号〉平成23年
度高山市一般会計補正
予算（第4号）

- ・災害復旧及び景気対
策事業のための補正
7億1000万円
- ・消防団員等公務災害
補償等責任共済金の増
額 4788万円
- ・「まちの健康相談所」
整備 520万円
- ・福祉医療費県補助金
返還額 1410万円
- ・基金積立 52万円

〈議第65号〉平成23年
度高山市下水道事業特
別会計補正予算（第1
号）

- 管きよ建設事業費を増
額するための補正
3500万円

〈議第66号〉平成23年
度高山市地方卸売市場
事業特別会計補正予算
（第1号）

- 市場使用料等の見直し
に伴う減額
△1600万円

9月定例会

議案審査報告

福祉保健委員会

〈議第61号〉高山市災
害弔慰金の支給等に関
する条例の一部を改正
する条例について

法律の改正に伴い、
災害により死亡した者
の兄弟姉妹にも弔慰金
支給の対象を広げよう
とするもので、全員一
致で原案の通り可決す
るものと決めました。

主な質疑は次の通り。

【問】生計が同じであ
れば、同居していなく
ても対象となるのか。

【答】対象となる。

【問】生計が同じかど
うかの確認の方法は。
【答】聞き取りによる。

9月定例会 議案賛否表

9月定例会の提出議案における、各議員の賛否は表のとおりです。

市長提出議案

	山腰 恵一	渡辺 甚一	北村 征男	若山加代子	岩垣 和彦	中茂 博之	倉田 博之	松山 篤夫	車戸 明良	佐竹 稔	松葉 晴彦	木本 新一	溝端甚一郎	水門 義昭	村瀬 祐治	橋本 正彦	中田 清介	藤江 久子	谷澤 政司	松本 紀史	今井 武男	小井戸真人	島田 政吾	杉本 健三	
議第59号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	休	○	○	○	○
議第60号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃	○	○	○	○
議第61号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃	○	○	○	○
議第62号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃	○	○	○	○
議第63号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃	○	○	○	○
議第64号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃	○	○	○	○
議第65号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃	○	○	○	○
議第66号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃	○	○	○	○
議第67号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃	○	○	○	○
議第68号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃	○	○	○	○
認第1号	○	○	○	●	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃	○	○	○	○
認第2号	○	○	○	●	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃	○	○	○	○
認第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃	○	○	○	○
認第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃	○	○	○	○
認第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃	○	○	○	○
認第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃	○	○	○	○
認第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃	○	○	○	○
認第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃	○	○	○	○
認第9号	○	○	○	●	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃	○	○	○	○
認第10号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃	○	○	○	○
認第11号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃	○	○	○	○
認第12号	○	○	○	●	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃	○	○	○	○
認第13号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃	○	○	○	○
議第69~74号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃	○	○	○	○
議第75号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃	○	○	○	○
議第76号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃	○	○	○	○

議員提出議案

発議第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	休	○	○	○	○
発議第9号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃	○	○	○	○
発議第10号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃	○	○	○	○

※○は賛成、●は反対

※車戸議長は採決に加わりません。

※休は採決時の欠席を表示しています。

9月定例会 一般質問掲載順

9月21日(水)

議員名	質問方式	掲載ページ
① 倉田 博之 議員	一問一答	9
② 松山 篤夫 議員	一括	10
③ 松葉 晴彦 議員	一問一答	10
④ 水門 義昭 議員	一問一答	11
⑤ 橋本 正彦 議員	一問一答	11
⑥ 中田 清介 議員	一括	12

9月22日(木)

議員名	質問方式	掲載ページ
① 藤江 久子 議員	一問一答	12
② 谷澤 政司 議員	一問一答	13
③ 若山加代子 議員	一問一答	13
④ 山腰 恵一 議員	一問一答	14
⑤ 中箴 博之 議員	一問一答	14

9月21日及び22日の2日間、議員11人が市政全般について一般質問しました。

本会議の映像情報につきましては、インターネット
<http://www.city.takayama.lg.jp/gikai/gikai-eizou.html> で視聴できます。
 また、会議録は11月30日以降に議会事務局または議会ホームページにて閲覧できます。

会議中継はヒットネットTV及び議会ホームページで見ることができます。ヒットネットTVでは生中継され、4日～7日後に録画も放映されます。議会ホームページでは生中継し、会議の3～5日後から録画でご覧いただけます。



國島市長に問う!!



倉田 博之 議員

育英資金を増額し、進学費用の支援を強化せよ

高山市育英資金貸付制度
【問】 進学率は上昇し、年収は減少している。高山市育英資金の位置づけと役割をどう考えるか。

【答】 積極的支援が重要。必要性は高い。

【問】 就・在学費用が多額で保護者負担が大き。貸付額の拡充を。

【答】 家計への負担状況など調査し検討する。

【問】 高額費用の医学部などはさらに上乗せが必要。市長は医師等養成奨学金の新設を公約している。

【答】 地域の医師志望者を支援できるよう検討する。

【問】 月々の返済額を抑えるため、返済期間の延長も必要だ。

【答】 拡充した場合はそれも検討する。

【問】 新年度に導入で

きる検討を願う。就職難や疾病・死亡など返済困難な場合には「副市长が必要と認めるとき」の減免規則のみで対応できるのか。

【答】 幅広いケースに柔軟に対応できる。

【問】 あいまいで説明不十分。条文の整備を。

【答】 考えていない。貸付時に周知を〆図る。相談にはきめ細かに対応する。

まちなか水路の管理と再生

【問】 水路は農務・維持・下水道の3課で分割所管。流量などに緊急の対処要望が多く、効率化と管理体制強化が必要だ。

【答】 緊急時には管理区分を越えて対応しているが、一元化を含めた合理的な管理を検討

したい。

【問】 分岐する水はゾーンでの把握が必要。地域の水路事情を良く知る水路管理協力員(仮称)を配置・組織化し、市民と協働する考えはどうか。

【答】 迅速な対応や被害の未然防止、地域づくりにも寄与する。連携や情報共有で、水の有効利用や地域理解にも有効と思われる。

【問】 快適環境だった用水は、今は排水溝となり魅力ない。市街地に通水を望む声が多い。

【答】 市民の声は理解しており、広範囲の通水は街のイメージアップ。渇水期の水量不足を懸念している。



水の流れる生活空間



松山 篤夫 議員

森林セラピーで心身の健康や地域振興を！

グリーンツーリズム

【問】観光のあり方が多様化し、豊かな自然をいかしたグリーンツーリズムが、今注目されている。具体的なプログラム・PRなどどうなっているのか。

【答】地域との交流も兼ね備えた様々な体験メニューを紹介し、付加価値の高い旅行商品としてPRしたい。学校や教育事業者も訪問し、DVD等も活用しながら積極的な誘致活動も行っている。

【問】森林セラピーロードをつくり、認定を受けることへの市の見解は。

【答】認定を受けるための条件など研究する。

再生可能エネルギー

【問】持続可能な低炭素社会の実現や、エネ

ルギー自給率の向上がこれまで以上に求められる社会情勢の中で、自然エネルギーの活用などのエネルギーシフトへの要求が高まっている。小水力発電と温泉発電に対する市の見解は。

【答】小水力発電は、豊富な水資源や落差のある地形などからも導入の検討には適した環境にあると考えている。温泉を活用した温度差発電の導入については、地域の自然エネルギーを活用した有効な取り組みであり、導入についての地域の考えも聞きながら、検討していきたいと考えている。

【問】市民が小水力発電を行う際に、相談ができるセンターを設置できないか。

【答】市民が小水力発電を行う際に、相談ができるセンターを設置できないか。

【答】地域政策課で対応する。そのための相談センターの設置は、現在考えていない。

【問】手続きへの簡略化を考え、「地域活性化総合特区」に申請することへの市の見解は。

【答】現在、県が総合特別区域法に基づいた「次世代エネルギー振興特区（仮称）」の申請を全県を対象に検討しており、その動向を注視していく。

飛騨牛の消費拡大

【問】飛騨牛の消費拡大への取り組みは。

【答】様々なPRイベント等を積極的にを行い、安心・安全をアピールする。



五色ヶ原(グリーンツーリズム)



松葉 晴彦 議員

鳥獣害対策、新射撃場早期実現を！

鳥獣害対策と猟友会及び射撃場

【問】昨年度の捕獲・狩猟の頭羽数は。

【答】イノシシ1179頭、ニホンジカ130頭、サル137頭、カラス132羽など合計1826頭である。

【問】猟友会の現状は。

【答】市内の猟友会は飛騨猟友会と高山猟友会、合わせて155名で、うち銃器免許所持者が131名、わな猟のみの免許所持者が24名である。

【問】狩猟免許の取得助成や猟期中の奨励金制度を考えられたい。

【答】有害鳥獣の個体数を減らすためにも検討する。

【問】現在の片野教習射撃場の問題点は。

【答】銃刀法改正により、銃刀所持許可更新時に

指定射撃場での技能講習が義務づけられ、現在の施設では老朽化や周辺の住宅地などで存続が困難となった。

【問】新しい射撃場計画は。

【答】猟友会と関係市村及び県と連携を図り、新射撃場については場所等含めて整備を具体的に検討している。

小水力(ミニ水力)発電

【問】小水力発電についての課題は。

【答】水利権をはじめ法的問題、洪水対策、消排雪の際の問題、ゴミ・落ち葉・流木などの浮揚物対策などが考えられる。

【問】各地域で実証するための予算化を検討されたい。

【答】来年度予算で対応

を検討する。

用水取入口の土砂・岩石流入対策

【問】河川から導水している農業水路の数は。

【答】農業用水頭首工は527箇所である。

【問】土砂などの流入現状を把握しているか。

【答】近年のゲリラ的豪雨により、用水路に土砂岩石が流入する頻度が増えており、地域の負担が大きくなっている。

【問】抜本的対策は。

【答】現段階で抜本的方策はない。地域力の共同活動で、緊急かつ計画的な対応をお願いしたい。



地域における牧柵対策



水門 義昭 議員

新しく架け替えになる合崎橋!!夢のある欄干を募集!!

合崎橋の架け替え

【問】合崎橋架け替えのスケジュールは。

【答】今年は用地取得等を進め、来年度に工事を着工、平成26年春に完成予定である。

【問】愛され親しまれている橋なので、欄干に対して市民から夢のある提案募集をしたらどうか。

【答】高欄デザインの提案募集は、地域の皆様に愛される橋という観点からも有意義。前向きに検討したい。

都市計画道路の見直し

【問】大新松本線が廃止と聞くが今後の進め方は。

【答】高山市都市計画審議会の諮問を行い、来年3月中に廃止の告示を行いたい。

【問】合崎橋から松本

橋までの間の未整備箇所をどう考えているか。

【答】都市計画道路を廃止しても、これまで同様に必要な整備は実施していきたいと考えている。県による河川改修の実施後に検討。

大学の誘致

【問】熱意を持つて誘致推進体制を。

【答】セミナーの開催や市の遊休施設を研究活動の場として活用することなどで、大学機能の一部を誘致するなど、実現可能なアプローチで取り組む。助成制度のPRなどの情報発信にも努める。

地域内分権・地域移譲の考え方

【問】全市域にどのような組織をつくるのか。

【答】今後の協働のま

ちづくりの考えの中で、より活動しやすく成熟した地域づくりの枠組みとして議論を深める。

下水道施設の耐震化と整備計画

【問】硫化水素発生による管渠閉塞事故の再発防止は。

【答】ガスの発生を抑制する薬剤等の使用や、腐食しにくい材質のものを採用する方針。

平成22年度の財務諸表

【問】目標とする中長期貸借対照表の作成は

【答】将来推計が可能な高い精度を目指し、研究していきたい。



合崎橋



橋本 正彦 議員

観光の本格的回復に力を尽くせ

東日本大震災等の影響調査と観光

【問】県「緊急観光戦略会議」の現状分析は。

【答】GWを機に回復傾向。秋以降が心配。

【問】今後の新たな中国等の誘客取り組みは。

【答】官民一体で秋冬を狙う。関西圏を中心に広告掲載など展開。中国人旅行者は有力で、海外旅行社・メディアを招聘し風評を払拭。トップセールスの他、自治体との連携など取り組みを促進したい。

職員の懲戒処分に関する規定

【問】今回の不祥事の処分の解釈で「公務内」と「公務外」の区分は。

【答】上司の指揮下であるか否かで区分。今回は地域団体の件であり公務外と判断した。

森林施業補助金の不適正事例

【問】補助金申請の流れと、チェック体制はどうだったのか。

【答】事業は適正で検査は不要との判断が不正を見逃した。今後、現地調査など県と連携し、再発防止に努める。

地域にあった災害対策

【問】国交省の「深層崩壊推定頻度マップ」で推定頻度が高いと予測された地域は。

【答】高山では東部・西部地域となっている。

【問】高山市の避難指示・勧告の基準は。

【答】区域ごとに発令。水害は、主要河川の観測所や橋などの定点で水位を観察。判断基準点より上昇が予想される場合、それぞれ「避難勧告」や「避難指示」。各河川の避難判断項目、

対象区間・町名などの「発令基準対象地域一覧」を整備している。土砂災害は危険性を地域別に把握し、降雨状況により迅速な避難行動が取れる体制である。

【問】新導入の「洪水対策支援システム」とは。

【答】3時間先までの予想降雨量に対応した主要五河川の水位状況が確認できる。洪水の警戒体制を事前に検討でき、適切な避難誘導が可能となる。

【問】防災マップの見直しが必要なのは。

【答】旧市域の4分割と各支所地域のマップがあるが、平成25年度を目処に見直す。



出水による災害現場



中田 清介 議員

新公会計制度における 財政分析とクラウド コンピューティング

新公会計制度における資産と債務管理

【問】 新制度の財務書類整備での期待は。

【答】 ストック情報などの説明責任の履行、財政の効率化適正化で、①発生主義による正確な行政コストの把握②資産と負債の一覧的な把握③連結ベースでの財務状況の把握である。

【問】 「つくる」から「活用する」段階に入り、開発が進むクラウドコンピューティングへの対応も必要ではないか。

【答】 ご紹介のシステムは、簡単に財務書類の作成ができ効果的に活用できるとのこと。導入を早速検討している。改訂方式での連結書類にも取り組む。

【問】 見えない財政課

題を定かにするのが財政分析。今後の対応は。

【答】 財務諸表からは資金繰り情報・償還能力等が説明でき有意義重視しなかった更新手当ての分析も、世代間負担比率と共に指標の公表も含め検討したい。

【問】 隠れ負債問題と更新手当問題である。

【答】 インフラ整備には各種補助メニューもあり更新手当を重視してこなかった。人口減少化等で今後課題を持ち越している。長期的展望に立った施設運営と長寿命化は大変重要で、公共施設白書とアセットマネジメントでの対応を研究する。

【問】 企業会計の水道

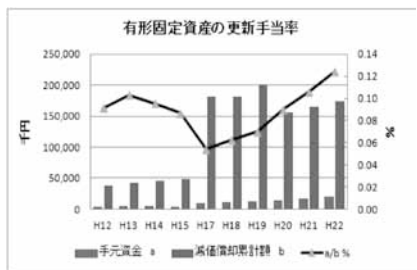
事業は、内部留保と起債の計画的投資が肝要。
【答】 水道ビジョン・新五か年計画の他、必要な設備投資は積極的に行う。

【問】 H25年以降管路の更新負担が増加する。

【答】 経営環境を改善するも、人口減で収益は減少見込み。より健全財政に留意した計画で更新に対応していく。

【問】 更新計画等の資産管理には水道GISでの対応が必要。

【答】 管種や管経、延長等が比較検証できるGISは有効。突発事故等多岐に活用が可能クラウド化も含め検討。



藤江 久子 議員

男性も女性もいきいき輝いて暮らす社会のために

男女共同参画社会は実現するのか

【問】 広報紙「新しい風」が休刊になるなど施策が低迷しているが、今後の方向性は。

【答】 職員一人ひとりが意識を高め、各種事業のあり方や効果を検証する必要がある。今後は、市民・事業者とともに「知る・考える・行動する」ことにより施策を推進していく。

【問】 全庁的な取り組みが必要であれば、市民活動課で機能するのか。

【答】 窓口対応も含め、今後も市民活動課で対応する。また、推進協議会があるので、組織強化を図って行く。

【問】 汚染ガレキや汚

染稲わらなど対応がまちまちであり、市の危機管理は不十分であったように思う。

【答】 国や県からの情報収集に努めていた。事後の対応には全力を挙げている。

【問】 危機管理室の職員は4人で、行方不明者の搜索まで責任の範疇が及んでおり、体制に無理がある。今後はその体制についても検討すべきだが、その他の課題と対応についての市の考えは。

【答】 地域と食の安全を確保することと、減少した観光客の回復が課題だと考えている。市民にも観光客にも安心を得てもらうことが重要である。空間放射量の測定と農産物等の放射性物質の測定に向け、各課と調整中である。

【問】 エネルギー政策について、市長の考え方は。
【答】 新たな原発は造らず自然エネルギーにシフトしていく必要がある。

【問】 バイオマスタウン構想の実現に向けて

【問】 廃食用油のリサイクルにおいて引き取り価格が暴落し、無料回収が困難となつてきている。市として何か方策はないか。
【答】 バイオマスタウンを目指し、今後も無料回収が継続できるようにリサイクル品の利用促進に努めていきたい。



空間放射線量率の測定作業



谷澤 政司 議員

久美愛病院移転後の跡地はどうなる

久美愛病院移転後の土地活用

【問】高山市の将来に向けたまちづくりの観点から、どのように考えていくのか。地元地域から出ている要望についてはどうか。

【答】民間の土地であり、現在は具体的な計画はない。今後の土地利用によって、周辺地域や市全体の将来が大きく影響を受けるので、跡地の有効な活用が図られるよう、情報収集等に努めていく。地元の見解は伝えていく。

【問】新病院（中切町）利用者のために、バス運行路線の見直しを。

【答】バス実証運行の中で検討して行く。

【問】健康増進施設（多目的プール）は、市民の健康増進や医療費の抑制につながり、また

企業誘致と雇用創出も推進できる。健康創造企業「コパン」を跡地に誘致する考えは。

【答】施設が実現すれば、健康増進や医療費抑制につながるかと考えている。

【問】旧病院の解体工事を地元が受注できれば経済効果ある。所有者との協議が必要。

【答】経済的に大きな効果があるので、働きかけを行いたい。

災害に強いまちづくり

【問】山の崩壊から土石流危険区域付近にある避難所の安全対策は。

【答】区域内にある避難所は見直ししていく。

【問】防災情報機器等の整備状況は。

【答】災害で停電の時など防災ラジオが有効。普及率は、9月現在で

15・9%である。今後

も啓発を図っていく。

【問】県の報告で高山市は震災時のガレキ処理計画が未作成とのこと。今後の策定計画は。

【答】県の指導を受け、今年度中に作成する。

【問】江名子川の氾濫治水対策の進捗状況は。

【答】今後、市や地元を含む協議会に河道改修計画や洪水調整池の位置・規模等を示し、今年度中に取りまとめた旨を、所管の県より聞いている。

【問】大八賀川の護岸未整備箇所の早期工事については。

【答】県・市・地元の三者で意見確認と整備計画について調整する。



現在の久美愛病院



若山 加代子 議員

温水プールの早期建設を!!

健康増進温水プール

【問】クアアルプ廃止から2年。温水プールで運動やりハビリを行ってきた市民から要望も届いている。健康増進のためのプール建設についてどのような進めていくのか。

【答】「総合交流センター検討委員会」に議論をゆだねている。結果と提言を持って検討に入りたい。

保育園民営化

【問】民営化の協議が進む宮保育園では、新たにバスの運営費が保護者負担となる。保護者や移譲を受ける法人は納得しているのか。

【答】保護者会において概算額の説明をした。より具体的な内容について説明会を実施していきたい。

【問】市内の3保育園で行われている障がい児の療育は、民営化後はどう進めていくのか。

【答】移譲候補の各法人は療育施設の運営を希望していないが、障がい児療育施設は重要な施設であり、今後も利用者の利便性を確保しつつ継続できるように運営方法について現在検討している。

【問】保育園の民営化により保育士の労働条件が悪化している。経験豊かな保育士が育たないことは保育の質にも影響する。処遇改善すべきではないか。

【答】各法人の大変な努力で、国の保育指針に基づく適正で円滑な保育園運営がなされている。民間移譲で経験豊かな保育士が育たないということはない。

35人学級

【問】市長公約の35人学級達成への考えは。

【答】35人学級とは、人数だけの問題ではない。本来的には、先生と子どもとのつながりがよりきめ細やかとなり、教え・教えられることが互いに理解できるような学級が目標。

【問】高山での35人学級の実現は、国や県がその方針を出した時という考え方なのか。

【答】待つて進めるといって受け身ではない。35人学級の中で目指すべき本来の教育が、高山でも行われていくことが目的。形にとらわれない。



市内の民間保育園



山腰 恵一 議員

健康施策の充実で、市民の命を守れ！

命を救うAED普及啓発

【問】 野外・屋内の運動場など、スポーツ施設のAED設置状況は。

【答】 スポーツ施設は全65のうち40施設に、小中学校は全校の体育館に設置している。

【問】 公民館や集会所などへの設置促進は。

【答】 公民館は地域活動の拠点。市民の安心・安全を守るため、設置を啓発したい。

【問】 AED設置登録制度を導入し、AEDマップに民間設置場所を記載しては。

【答】 AEDの民間設置は登録義務がないが、そのつど設置確認する。AEDマップについては、県のGISマップを活用し設置場所を掲載していく。

【問】 子どもを対象に

した救命士育成プロジェクトの導入を。

【答】 総務省の通達により、小学校4年生以上を対象に、応急手当などの救命入門コースの講習を行っていく予定である。

がん対策、がん検診受診率

【問】 国の「がん対策推進計画」では、23年度末までの検診受診率50%以上が目標。市の状況と取り組みは。

【答】 胃がん28・1%、肺がん46・8%、大腸がん35・6%、子宮がん43・2%、乳がん41・6%となっている。

【問】 21年度から導入された子宮頸がん・乳がんのクーポン券で、検診受診率の推移は。

【答】 子宮頸がんは7・1%、乳がんは3・3%

の伸びを示している。

【問】 がん死因では胃がんが2番目に多い。ヘリコバクターピロリ菌検診と、検診の無料クーポン券を新たな対策として導入しては。

【答】 当該検診は、死亡率減少効果が現段階では不十分であり進められない。無料クーポン券は国の助成制度がなく、現在は考えていない。

【問】 がん予防の取り組みについてどの様な対策をしているか。

【答】 生活習慣の改善やアルコール摂取のあり方、喫煙の自粛など健康教育の普及啓発を行っている。



AED設置表示



中茂 博之 議員

高山の顔Ⅱ朝市へのバックアップを

朝市の現状と市の関わり

【問】 朝市に対する市の認識はどうか。

【答】 高山の観光の目玉であり、また地産地消の原点として農山村の活性化にも寄与していただいている。

【問】 朝市の現状はどうか。

【答】 購買額の減少や組合員数・出店数の減少、高齢化や後継者不足の問題を聞いている。

【問】 市としてバックアップができるか。

【答】 安定した販売収入の増加のため、情報発信や誘客活動を積極的に展開していく。

【問】 学校教育や一般の生涯学習の観点から積極的に連携を図る考

えはないか。

【答】 世界最先端の施設であり、観望会や出前講座など連携について前向きに検討したい。

【問】 高山での国際宇宙シンポジウム開催、京都大学との連携協定の可能性も視野に取り組めないか。

【答】 生涯学習のほか地域振興という面からも前向きに検討したい。

保育園の受け入れ対応と保育士の待遇

【問】 3歳未満児の入園希望が増加しているが対応はどうか。

【答】 保育士の確保、園の改修など現状では対応できている。

【問】 入園基準を緩和する考えはないか。

【答】 国の基準に沿って園児を受け入れる。

続年数はどうか。

【答】 公立15年、私立10年。22年度の離職者数は公立0人、私立14人で全体の11%。

【問】 保育士の加配ができないか。

【答】 障がい児などについては、国の基準以上の対応もしている。

【問】 私立保育園の賃金も含めた保育士の待遇改善の考えは。

【答】 市の単独事業による人件費等の支援を行っている。

【問】 市長の考えは。

【答】 安定した質の高いサービスの提供は市の責任であり、保育園や保育士さんの実状を話し合う場を設けたい。



保育園のお昼寝

総務企画 委員会

重点調査項目 公共交通体系について

行政視察先 長野県安曇野市 長野県木曾郡木曾町

【目的】

高山市における公共交通体系は幹線バス・のらマイカー・まちなみバスの組合せで今年三月から開始しました。本市においても高齢化・過疎化は加速度的に進んでおり必要性が高い課題です。有効性、効率性、妥当性などの視点を含め調査研究を行っています。

公共交通体系は地域政策と福祉政策の両視点が重要であることから、先進地の事例を調査研究しました。

【特徴】

安曇野市では、社会福祉協議会がデマンド交通安曇野乗合タクシー「あずみん」を運営しています。この方式は、事前に利用予約した利用者の自宅や指定場所を順次廻りながら目的地で降車する「乗合タクシー」方式で、運用等の課題もありますが、福祉政策の観点からは一応成功事例とされています。

木曾町の交通システムは、幹線バス・巡回バス・デマンド乗合タクシーの組合せで、各交通機関が役割を明確にして運行しています。デマンド乗合タクシーは、巡回バス停留所から一キロ以上距離がある利用者から事前予約を受け、バス停まで有料で運行しています。

【反映】

デマンド交通を中心とした二箇所の先進事例を調査研究しましたが、日本一広大な面積を有する高山市に同様のシステムを導入することは困難です。ちなみに安曇野市の面積は当市の1/6、木曾町は1/4です。

特に支所地域と拠点施設等の多い高山地域を結ぶには、幹線バスとのらマイカーが密接に関わり、補完し合うことが重要です。従って、市民・事業者・行政の協力で交通が体系化されるものですが、運用等には課題が残ります。

高齢化・過疎化が進む中で、公共交通は電気・水道と同様に重要なライフラインであり、交通手段の確保は行政の責務でもあります。当委員会は、他の交通機関との整合性や機能分担、利用者の拡大や財源等の問題を含めて検討を続けていますが、道路運送法と地域政策及び福祉政策が絡み合うので、課題は山積しています。



安曇野市デマンド交通受付センター

分野別市民意見交換会から

新公共交通体系における現状と課題

【目的】

当委員会は、公共交通体系再編に伴い、運行事業者である濃飛乗合自動車(株)と、実証運行の実態について意見交換を行ないました。

【経過】

事業者は、本年三月からの実証運行に際し、要員15名を採用し車両10台を購入しました。自社12路線を見直して「のらマイカー」「まちなみバス」「路線バス」が一体運行できるよう時間・本数の調整や停留所新設等を行ないました。

運賃も市の協力を得て改めました。地域内の路線バスは「のらマイカー」と同じ100円とし、地域をまたぐ

場合は最高1000円と上限を定めました(市民対象)。また、「環境定期券」や「悠々手形」により、高齢者等への負担軽減にも努めています。

車両動態管理システム等の導入など、安全確保にも積極的な対応をしています。

事業者から見た効果は、以前から交通手段のない地域も通院・通学など移動が確保され、休日にも移動が可能となったことや、運賃の不平等が解消された点などが挙げられました。

また課題については、運行所要時間の適正化、運行時間の見直し、冬期の接続問題、運行経路やバス停の位置、利用が少ない地域への対応、新久美愛病院に向けた経路の変更なども指摘されました。

【意見交換から】

利用者が少ない路線であっても、利用される方の必要性は高く、地域意見をまとめる中で市全体の交通体系の向上をめざす必要があります。

バス運行は、路線や時刻の周知・定着に一定期間を要するもので、短期間での判断は極めて危険です。

デマンド交通については、行政視察での検証も踏まえ、地域特性など様々な理由から、導入が便利向上と利用者増加に繋がるかの判断は難しいと思われます。

公共交通問題は、地域政策や福祉政策的な一面が大きいです。さらには法律的な規制が問題を複雑化しています。当委員会では引き続き調査項目として研究することを確認しました。

福祉保健 委員会

重点調査項目

第5期介護保険事業計画について 障がい者福祉計画について

行政視察先

厚生労働省 ケアホーム明（名古屋市）

改正介護保険法

【目的】

厚生労働省にて、「高山市第5期介護保険事業計画（平成24年度）」に活かすための調査研究を行いました。

【特徴】

介護保険法改正のポイントは、施設から在宅サービスへの転換です。そこには、在宅でも施設並みの安心を得られるようサービス体系を構築することが求められます。高齢化社会が進む中、保険料の抑制も目的にあります。

【反映】

現在高山市の高齢化率は26・7%、しかも独居または高齢者だけの世帯がその半分以上を占めています。少子高齢化の中、持続可能な保険制度の確立と「老後をどう生きたいのか。」という、一人ひとりの問題に、委員会として向き合っていきたいと考えます。

障がい者福祉計画

【目的】

厚生労働省にて、「高山市障がい者福祉計画」に活かすための調査研究を行いました。

【特徴】

「障害者自立支援法」を廃止し「制度の谷間」がなく、サービスを利用者の応能負担とする「障害者総合福祉法」を制定する流れがあります。このことは、以前から懸念されていた親亡き後の障がい者について、社会が責任を持つて支援していくための制度の改正でもあります。

【反映】

高山市でも来年度、次期の「障がい者福祉計画」の策定が予定されており、今回の調査研究を活かしていきます。

「ケアホーム明」視察

【特徴】

名古屋市中村区にある「明」は、障がい者が親元から離れ自立して生活する場として2006年に開設された家です。利用者は5人で、昼間は授産施設に仕事に出かけ、夕方帰ってから入浴したり食事をしたりします。世話人が交代で2人います。

【反映】

24時間365日利用できます。現在、高山市でもこうしたサービスが利用できるよう関係者が努力しており、委員会としても、早期に働きかけをしていきます。



名古屋市のケアホーム明

分野別市民意見交換会から

介護保険における現状と課題

【目的】

高山地域介護保険事業者連絡協議会の関係者と事業の実態について意見交換会を行いました。

【経過】

・特別養護老人ホームの待機者について
700人以上いるとされるが「まずは申し込んでおく」という人が多く、そのために本当に困っている人が入れないという課題がある。老々介護や認々介護など、在宅介護が継続できないようなところは、家庭崩壊しないためにも、施設利用や入所が必要な場合がある。それらについては、入所要件を精査し対応すれば、解決できるだろうから、現在ある施設で十分だと思ふ。施設を増やすと保険料が

上がってしまう。

・特定施設について

高額な一時金と毎月の生活費等が必要で、経済的に恵まれた人しか入れない。増床しても待機者は減らない。

・その他

高齢者は「家にいたい。」と思っている。行政は、そのために何ができるのか、どう環境整備すればよいかを考えるべきだ。「看取り」ができる地域にしてみたい。

【意見交換から】

介護保険も、在宅への転換ということで法律改正されたと聞いています。当市でも高齢者施策が適正に行われるよう提言していきたいと考えます。

障がい者福祉における現状と課題

【目的】

社会福祉協議会と現場におけるニーズを把握するため意見交換をしました。

【経過】

「療育施設」について、社会福祉協議会からは、発達障がいがある児童で、あゆみのデイサービスを利用したい人は増えているが、施設の規模から、ニーズに応えられず、早期療育に支障が出ている。

【意見交換から】

実態に即した提言として、今後の高山市の施策に活かせるよう努力していきたい。

文教経済 委員会

重点調査項目 産業振興条例制度後の地元企業振興策

行政視察先 奈良県奈良市 富山県高岡市

【目的】
産業振興に係る条例及び計画のあり方、観光と伝統文化などの先進的な取り組みの事例を調査・研究するため視察しました。

【特徴】

・奈良市文化振興計画

奈良市は文化の力をまちづくりに活かす「文化振興条例」を策定済みです。条例に基づく具体的施策を推進計画としてまとめられています。「文化の継承への意欲を呼び起こす」「生活の中で文化をはぐくみ伝える」「生きがいのある生活でまちを元気にする」この3点を計画の目指す姿としています。特に進捗状況を評価するシステムで進行管理しているのが特徴です。

・奈良市観光交流推進計画

観光は奈良市の大きな経済基盤と位置づける中で、基本的な方向性、事業の取り組みと方針を定めています。課題の整理から目指す観光の姿を描き、行政の果たす役割を明記するとともにその到達度を検証する体制をとっています。観光戦略課が担当しています。

・高岡市産業振興ビジョン

新たな成長分野への進出支援と誘導、並びに北陸新幹線開業を見据えた観光拠点化等を核とする産業振興ビジョンは、高岡市産業界の将来イメージを明示するとともに、具体的な目標数値設定と国・県も含めた官民の推進体制を組み立てています。ものづくりとデザインに軸足を置いているのも特徴で、農業については6次産業化のみを取り上げています。産業企画課が担当しています。

【反映】

奈良市の二つの計画は高山市にはない計画であり、伝統文化を生かすまちづくりやまちなみ保存と観光といった面で、これから高山市でも見習いたい視点でした。

「高岡市産業振興ビジョン」については、非常に明確な将来都市像のもと5つの基本方針を打ち立て、その施策の方針や具体的施策に言及している点が、高山市の産業振興計画の対極にあると見えました。

その後、事前調査担当者による調査結果報告をもとに議員間で自由討議を行い、今回の視察の総括を行ったところです。



高岡市金屋町のまちなみ

分野別市民意見交換会から

流通に課する諸問題への対応

【目的】

公設卸売り市場使用料減免と、今後の施設運営について意見交換を行いました。

【経過】

・標記の課題について市場関係者からの要望に基づき、7月2日市場管理棟において現状調査、及び意見交換しました。

「事前調査内容」

- ・高山市公設市場取扱高の推移、並びに地場産野菜果物取扱高の推移
- ・高山市小売販売額等の推移と地域の所得動向
- ・卸売市場をめぐる情勢、卸売市場再編の推進

(農水省総合食料局編)

- ・高山市公設卸売市場会計決算書及び施設振興公社決算書(市場使用料、一般管理費、役務費、指定管理料等の推移)
- ・卸売市場法及び高山市関連条例「現況と調査経過」
- ・流通形態が変化する中で、取扱量、取扱高ともに最盛期の7割以下に落ち込んでいる状況では、今後の施設運営や施設の維持更新にも多大の影響が考えられます。特に市場の荷受2社の問題ばかりでなく、買受人や生産者とともに地域の重要課題と捉えています。特に3月の東北大地震後の観光への影響は大きく、卸売市場への影響も深刻で、特に市場使用料の減免を農務課へ要望している状況です。

4月からの納入についてはその協議が整うことを前提に調整中であるとの説明を受けました。

事前の調査でも地域の所得動向、小売環境の変化や、農林水産省の市場再編への考えなどから、何らかの対応を迫られている問題として認識。担当課から当面3ヵ年の市場使用料の減免方針について説明を受けたところです。補正などで対応することになります。

【意見交換から】

根本的な対応策については、今後3年間かけて検討していくことになっており、委員会としても一歩踏み込んで調査するとともに、荷受2社の皆さんとも、今後話し合いの場を持つ方針です。

基盤整備 委員会

重点調査項目

橋りょう及び水道の耐震化について
環境行政におけるごみ処理計画について
都市基本計画とまちづくりについて

行政視察先

埼玉県川越市・埼玉県さいたま市
品川清掃工場（東京都品川区）

川越市のまちづくり

【目的】

歴史的風致維持向上計画が認定された川越市のまちづくりについて視察しました。

【特徴】

川越祭りや物資の集散、寺社門前の賑わいなど、**独特の風情を醸し出した**まちですが、計画が認定されたばかりで今後の取り組みにおける課題は少なくないようです。

【反映】

地域特性はあるものの、改めて高山市の取り組みの先進性を確認する視察となりました。



川越市のまちなみ

最新のごみ処理施設

【目的】

東京都品川清掃工場で最新のごみ処理施設を視察しました。

【特徴】

最新設備による大気汚染物質の除去はもちろん、焼却熱によ

水道の耐震化

【目的】

水道管路の耐震化について、先進的に取り組んでいるさいたま市水道局を視察しました。

【特徴】

さいたま市は、マッピングシステムを駆使して配水管網を解析し、老朽度や重要度などの機能評価を行って、更新の優先順位を中期経営計画に盛り込んだ事業展開をしています。

【反映】

全国的に水道施設や管路の耐震化の遅れが指摘され、高山市も例外ではありません。高山市にある断水時の影響範囲の特定や、地形・土質データによる危険度解析など、シミュレーションが図上表示できるシステムの採用と、全体像を把握した上での更新計画策定が必要と考えます。

る発電や地域への熱供給、溶融スラッグの有効利用など循環型社会づくりにも対応しています。

【反映】

高山市は、現施設を延命し新施設の稼働を平成31年度以降としており、今後も委員会調査を進めていきます。

分野別市民意見交換会から

公共工事における現状と課題

【目的】

高山市の建設業を取り巻く**状況や諸課題**についてご意見やご要望をお聞きするため、建設業連絡協議会の役員の方々と意見交換の場を設けていただきました。

【経過】

大震災の影響による景況悪化、企業を取り巻く経営環境の厳しさなど現状説明を受けた後、懇談に移り、活発に意見を交わすことができました。

地域の基幹産業でもある建設業が、景気のあおりを受け雇用も含めて厳しい状況に置かれていますが、除雪や災害への対応など、建設業界は市民生活に密着した業界でもあります。

【意見交換から】

景況悪化の中での社員・技術者の確保や技術の継承、建設機械の維持管理など課題は山積しており、今後も連携を図りながら意見を伺っていきたいと考えています。

水道設備関係における現状と課題

【目的】

高山管設備工業協同組合は、指定管理者として市の水道施設の維持管理業務を請け負っています。

一番、**現状を把握**されている立場から、水道施設の耐震化や技術者の養成、行政との連携などについて意見を伺いました。

【経過】

特筆したいのは、組合のワーキンググループで「震災シミュレーション」を**独自に策定**されていることです。災害時に市と連携して、組合がどう行動するか、初動体制から他市からの応援が入った際の核となるリーダーの養成まで詳細に検討されています。

【意見交換から】

市民の大切なライフラインである**水道を守る**という観点から、前向きな意見交換ができたことに感謝しています。

議会改革の取組み

開かれた議会へと頑張っています

議会基本条例を3月に制定し、議会としての基本理念に沿って議会改革を議会運営委員会を中心に進めています。

【議場での一般質問は対面式で行います】

新たに質問席を設け、市長をはじめ執行部側と対面とするように配置しました。

議員は自分の判断で、一問一答か一括質問かの方式を選んで質問しています。

【会議は公開】

情報公開日本一を目指すために、全ての会議を原則公開で行っています。ぜひ市民の皆様のお聴きをお待ちしています。

【全員協議会室にテレビカメラ設置】

9月定例会予算決算特別委員会から、全員協議会室での審議の様子をインターネットとケーブルテレビで生中継し、あわせて録画放送を行いました。

【市民との意見交換の場を】

地域別市民意見交換会だけではなく、常任委員会においても、分野別の意見交換会を積極的に開催しています。

今後さらさら議会の改革を進めていきます。



インターネットの録画映像

「高山市議会ぎかいだより第4号」誤記につきましてのお詫びと訂正

平成23年8月1日に発行しました「高山市議会ぎかいだより第4号」の記載内容に付きまして、4点の誤りがありました。謹んでお詫び申し上げます、訂正いたします。

- ①7ページの6月定例会議案賛否表で、松葉晴彦議員の全賛否の記載漏れ。
- ②7ページの6月定例会議案賛否表で、若山加代子議員の議第46号の賛否の誤記。

- ③7ページの6月定例会議案賛否表で、松本紀史議員の議第49号と議第51号の賛否の誤記。(休(誤) ↓ ○ (正))
 - ④9ページ的一般質問で、北村征男議員の内容の誤記。
- それぞれ、左記の議案賛否表及び正誤表をご確認ください。

訂正後の6月定例会の議案賛否一覧

市長提出議案	山腰 恵一	渡辺 基一	北村 征男	若山 加代子	岩垣 和彦	中成 博之	倉田 博之	松山 篤夫	車戸 明良	佐竹 稔	松葉 晴彦	木本 新一	溝端 基一郎	水門 義昭	村瀬 祐治	橋本 正彦	中田 清介	藤江 久子	谷澤 政司	松本 紀史	今井 武男	小井戸 真人	島田 政吉	杉本 健三
議第45号	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第46号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第47号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第48号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第49号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第50号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第51号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第52号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第53号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第54号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第55号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第56号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第57号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第58号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議員提出議案	山腰 恵一	渡辺 基一	北村 征男	若山 加代子	岩垣 和彦	中成 博之	倉田 博之	松山 篤夫	車戸 明良	佐竹 稔	松葉 晴彦	木本 新一	溝端 基一郎	水門 義昭	村瀬 祐治	橋本 正彦	中田 清介	藤江 久子	谷澤 政司	松本 紀史	今井 武男	小井戸 真人	島田 政吉	杉本 健三
意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

請 願	山腰 恵一	渡辺 基一	北村 征男	若山 加代子	岩垣 和彦	中成 博之	倉田 博之	松山 篤夫	車戸 明良	佐竹 稔	松葉 晴彦	木本 新一	溝端 基一郎	水門 義昭	村瀬 祐治	橋本 正彦	中田 清介	藤江 久子	谷澤 政司	松本 紀史	今井 武男	小井戸 真人	島田 政吉	杉本 健三
請願第2号	●	●	●	○	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※○は賛成、●は反対
 ※車戸議長は採決に加わりません。
 ※休は採択時の欠席を表示しています。

ページ	誤	正
9	北村征男議員の固定資産税について 下呂市は1.7、飛騨市は1.6だ。	【税率の誤り】 下呂市は1.6、飛騨市は1.7だ。

H23年度

高山市議会 地域別市民意見交換会

—どの会場へでもお気軽に—

高山市議会では、昨年度に引き続き、今年度も市民意見交換会を開催いたします。全議員が4班に分かれて皆

様の地域へ伺い、議会の内容などを説明するとともに、ご意見をいただいで市政へ反映したいと考えています。

全地区
午後
7時より

期 日	開催地区	場 所	時 間
11月 4日	金	荘川地区	荘川支所 文化ホール
11月 4日	金	久々野地区	久々野公民館
11月 7日	月	高根地区	高根公民館
11月 7日	月	上宝地区	上宝支所
11月 8日	火	清見地区	清見支所
11月 8日	火	一之宮地区	一之宮支所
11月 10日	木	国府地区	国府福祉センター
11月 10日	木	丹生川地区	丹生川支所
11月 11日	金	南地区	南小学校 多目的室
11月 11日	金	大八・岩滝地区	松之木町公民館
11月 14日	月	奥飛騨温泉郷地区	一重ヶ根公民館
11月 15日	火	新宮地区	新宮小学校 社教室
11月 15日	火	花里地区	花里小学校 特別活動室
11月 16日	水	朝日地区	燦々朝日館 ふれあいホール
11月 17日	木	三枝地区	三枝小学校 多目的室
11月 17日	木	江名子地区	上江名子ふれあいセンター
11月 18日	金	北地区	フローラ(桐生町)
11月 18日	金	東地区	高山図書館煥章館
11月 21日	月	西地区	西小学校 マルティ
11月 21日	月	山王地区	片野会館

開催日程は左記の通りです。ご近隣などお誘い合わせの上、ぜひご参加ください。すようご案内いたします。(どの地区でもご参加いただけます。)



高山市議会12月定例会日程

※日程は変更される場合があります。

開会日	曜日	会議内容	場 所
11/30	水	午前9時30分 本会議	議場
12/1	木	議案精読日	
2	金	議案精読日	
5	月	議案精読日 午前10時 質疑・一般質問通告締切	
6	火	議案精読日	
7	水	午前9時30分 本会議	議場
8	木	午前9時30分 本会議	議場
9	金	午前9時30分 本会議 本会議終了後 議会運営委員会	議場 全員協議会室
12	月	午前9時30分 総務企画委員会 午後1時30分 福祉保健委員会	第一委員会室 第二委員会室
13	火	午前9時30分 文教経済委員会 午後1時30分 基盤整備委員会	第一委員会室 第二委員会室
14	水	午前9時30分 予算特別委員会	全員協議会室
15	木	(予備日)	
16	金	午前9時30分 本会議	議場

編集後記

「高山市議会ぎかいだより」は、昨年の11月1日に産声をあげました。1年という区切りに、いつもとは少し違った感情も起こらないではないですが、発行への反響と次号編集の

「高山市議会ぎかいだより」は、昨年の11月1日に産声をあげました。1年という区切りに、いつもとは少し違った感情も起こらないではないですが、発行への反響と次号編集の

心配がそれらを凌駕してあります。議会外の専門員が作っているように思われがちですが、当紙は議会の手作りです。記事はもちろん、編集や写真も全て議員が行っています。それは、創刊に当たっての議員の総意であり、気概の発露でもあります。とはいえ、皆様のご助力や関係者のご協力をなくして成立するものでなく、この機会に改めてお礼申し上げます。今後のご指導もお願いしつつ、2年目へ踏み出させていただきます。